

1階展示室 1・2・3 所蔵品展

三岸好太郎セレクション 夭折の画家 愛のまなざし

MIGISHI KOTARO SELECTION

日本近代洋画史に輝く道産子画家・三岸好太郎(1903～34年)。短い生涯をつらぬいて、創造への情熱に燃えた愛とロマンティズムを探ります。



三岸好太郎《のんびり貝》1934年 当館蔵

【会期中のイベント】

◎カルチャーナイト・コンサート

—北海道150年事業—

演奏: 福井遥香(クラリネット)、渡部美露(ピアノ)

日時: 7月20日(金) 午後7時開演(約1時間)★

会場: 当館展示室(80席予定、入場無料)

※音楽会の詳細は、別途イベントチラシや当館ホームページをご確認ください。

★7月20日は午後5時30分～9時(入場は午後8時30分まで)無料開館。ただし、コンサートの開演中および前後の時間帯に一部作品の観覧を制限させていただくことがあります。

◎ミニ・リサイタル

演奏: 丁名塚元(サクソフォン)、工藤美里(ソプラノ)

吉田彩夏(ピアノ伴奏)

日時: 8月25日(土) 午後2時開演(約1時間)

会場: 当館展示室(80席予定、要観覧料)

◎たんけん美術館(小学生対象)

日程: 7月26日(木)～8月19日(日)

内容: ワークシートで楽しみながら鑑賞します。

会場: 当館展示室(小中生以下無料)

2階展示室 6・7



アートギャラリー北海道

mima-no-me

#みまのめ〈VOL. 1〉

三岸好太郎は10代末から31歳で急逝するまで、若々しくエネルギッシュな画業を展開しました。その三岸芸術を紹介する当館では、新たな取り組みとして北海道ゆかりの若い作家を取り上げるシリーズ企画展「#みまのめ」をスタートします。本展は若い作家への活動の場の提供などで、北海道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道」事業として開催するものです。「#みまのめ」第1回では、油彩画を中心に制作活動を行う津田光太郎(1995年生まれ)、寺田朱里(1999年生まれ)の作品を紹介します。

【関連事業】

アーティスト・トーク

津田光太郎 / 7月14日(土) 午後2時～ 寺田朱里 / 7月14日(土) 午後3時～

会場: 当館展示室(要観覧料)



津田光太郎《障子は開いている》2018年 作者蔵
*参考図版



寺田朱里《波打ち際》2018年 作者蔵
*参考図版

2018.7.7 Sat—9.2 Sun

開館時間: 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日: 月曜日(ただし7月16日は開館)

観覧料: 一般510(420)円、高大生250(170)円 ()内は10名以上の団体料金

※同時開催となる「三岸好太郎セレクション」「フランク・シャーマンコレクション選」

「mima - no - me #みまのめ」の3つの企画展をすべてご覧いただけます。

※中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方等は無料。

※高校生は会期中の土曜日、ならびに学校の活動で利用する場合は無料。

☆7月7日(開館記念日[7月1日]の振替)と7月17日(道民の日)はどなたも無料!

☆7月20日のみ 午後5時30分～9時(入場は午後8時30分まで) 無料開館!

※コンサートの開演中および会場設営、撤収の時間帯に一部作品の観覧を制限させていただくことがあります。

アクセス:

【地下鉄】東西線「西18丁目」駅下車④番出口から徒歩7分 【バス】JRバス・中央バス「道立近代美術館」停留所下車徒歩4分 【駐車場】美術館駐車場(2台可。うち1台は障害者専用) / ビッグシャイン88北1条駐車場(北1条西15丁目。有料・割引あり)



mima 北海道立三岸好太郎美術館
MIGISHI KOTARO MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目 tel.011-644-8901

テレフォンサービス 011-621-7000

http://www.dokyoj.pref.hokkaido.jp/gp/hk/mkb/



2018年、美術館がつながりはじめます。

【アートギャラリー北海道】は、道内の美術館がネットワークでつながるとともに、若い作家たちへの活動の場の提供などによって、北海道全体がアートの舞台となることを目指す取組みです。

